

# パンタナール通信

南北米福地開発協会 会報 2004年6月1日発行 第9号

心のふれあいを求めて



## 第五回国際協力青年ボランティア隊 八月二四日パンタナールへ出発

第四回ボランティア活動に参加して。

「現地の船（アキタバン）の中での生活は想像を絶するものでした。普通のいわゆる客船みたいなものを考えていましたので舟に入った瞬間、度肝を抜かされました。舟の中の地べたに薄いシーツをしていて寝ているお母さんと赤ちゃん。今にも抜けそうな階段、トイレも匂いがひどくてとても入る気にならない不衛生極まりないものでした。」ディアナの村での経験も決して忘れられないものとなりました。ボロボロでビリビリのシャツに髪はぐしゃぐしゃで裸足の子供達、雨が降つたら家中がびしょびしょになるスカスカな屋根、必死になつて物を売ろうとしている歯がぼろぼろのお母さん。小学校に通う子供達もノートを全て使い切つたり、鉛筆もなくなつたらその時点でお金がないので事実上の退学、大学進学率も0%、小学校さえも行けない子供が三割ほど、もう此処に希望は全くないと言うぐらいの悲惨な村でした。こんな光景を見ながら誰がどのように選ばれて日本、アメリカのような先進国に生まれて豊かな生活ができる「資格」があるのか・・そんな事を考えてしまいました。本当に貧しい人たちに接しながら改めて自分に恵まれた環境にいるんだなあと言う事を実感したと同時に、人生を中途半端に生きてはいけないと感じました。それにしてもあの子供達の笑顔は今でも脳裏に焼きついています。東森孝勝（大学生）



六月度研修会案内 一日研修会 六月十九日～二〇日  
国際協力青年ボランティア参加者募集中  
二〇〇四年八月一四日～九月一四日 詳細は事務局までお尋ね下さい。

南北米福地開発協会事務局  
〒150-1000 東京都渋谷区神宮前六一九一四  
神宮前ハッピービル十階  
ファックス（03）3407-0145  
電話（03）5774-0544





## 第四回パンタナールエコツア、今夏も予定しています。



民芸品の製作を学ぶ

第三回(1001年)エスペランサ



現地小学校の先生と子供達とともに

第一回(1000年)ボケロン



新しい校舎

第四回(1003年)ディアナ



子供達の輝く瞳に感動



体操を通じて懇親を深める



現地の昼食



民族舞を見て踊りを教諭

第一回(1001年)エスペランサ



旧校舎の前で

SEP 1 2003



文化交流(心のふれあい)

国際協力青年ボランティアの歩み  
(1000年-1003年(第一回-第四回))